

アジャイル人材育成プログラムのご提案

"世界標準 × 実践 × 継続学習" ABIアジャイル研修プログラム



CONTENTS 01 アジャイルが求められる理由

なぜ今、アジャイルなのか？

変化の激しい時代に、従来のやり方では通用しなくなっています。柔軟でスピーディな組織づくりが求められています。

01 将来予測が困難な時代

市場や技術の変化が激しく、不確実性が高まっています。計画重視ではなく、柔軟に対応できる体制が必要です。

02 顧客ニーズの多様化・変化の速さ

求められる価値が常に変わり、待ってくれません。継続的にフィードバックを得て改善する仕組みが不可欠です。

03 従来の組織構造・開発プロセスの限界

部門間の壁や重たい意思決定がボトルネックになります。現場が判断し、すぐ動けるチームが必要です。

04 DXが「手段」から「文化」へと進化

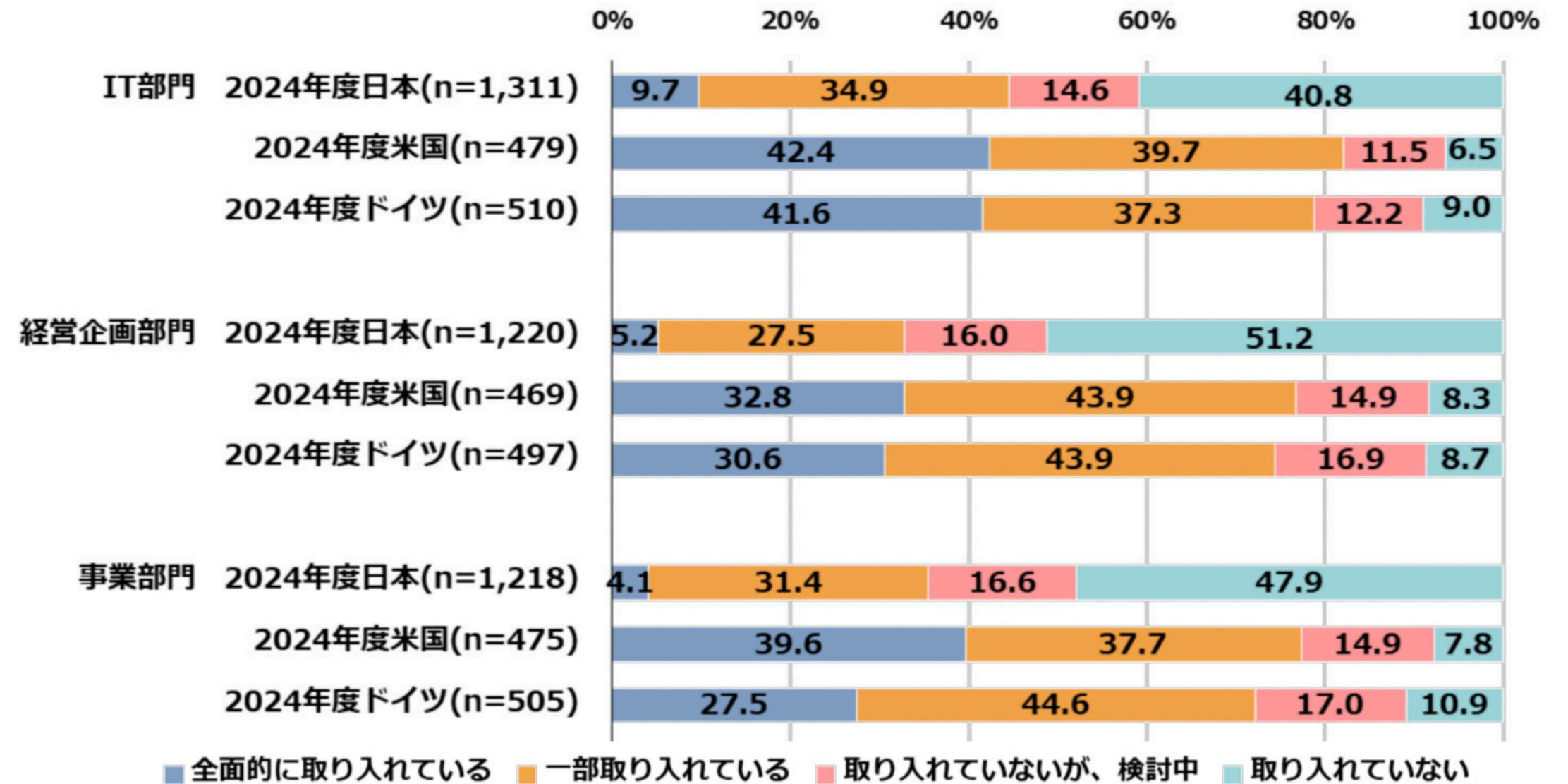
ツール導入だけでは成果は出ません。自律したチームと学び続ける組織文化が重要です。

アジャイルは「変化に強い組織」をつくるための土台です。

CONTENTS 02 日本企業のアジャイル普及率

日本でもアジャイル導入は進みつつありますが、米国・ドイツに比べるとまだ普及に差があります。

アジャイルの原則と アプローチの取入状況 (国別)



IPA 「DX動向2025」 図表 1-31 アジャイルの原則とアプローチの取入状況（国別）より一部抜粋

CONTENTS 03 アジャイルは競争力を高める“仕組み”

行政は、企業が『変化に迅速に対応し競争力を高める手段』としてアジャイルを推奨しています。

01 デジタル庁の導入推進

デジタル庁「デジタル社会の実現に向けた重点計画」
<https://www.digital.go.jp/policies/priority-policy-program>

02 経済産業省の支援策

経済産業省「デジタルガバナンス・コード2.0」
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dgc/dgc.html

03 東京都の推進策

都政の構造改革「シン・トセイ」アジャイル型開発プレイブック
https://shintosei.metro.tokyo.lg.jp/post_cp2_230517/

変化の激しい時代を勝ち抜くカギは「競争力アップ」。

デジタル庁は行政改革の一環として、職員の意識改革やスキル向上を推進。

経済産業省は企業支援を通じて、アジャイル開発の普及を後押ししています。

東京都も、構造改革「シン・トセイ」の中でアジャイル型開発プレイブックを作成し、取り組みを進めています。

アジャイル導入こそ、日本企業が競争力を高めるための最強の武器なのです！

CONTENTS 04 アジャイル導入による成果

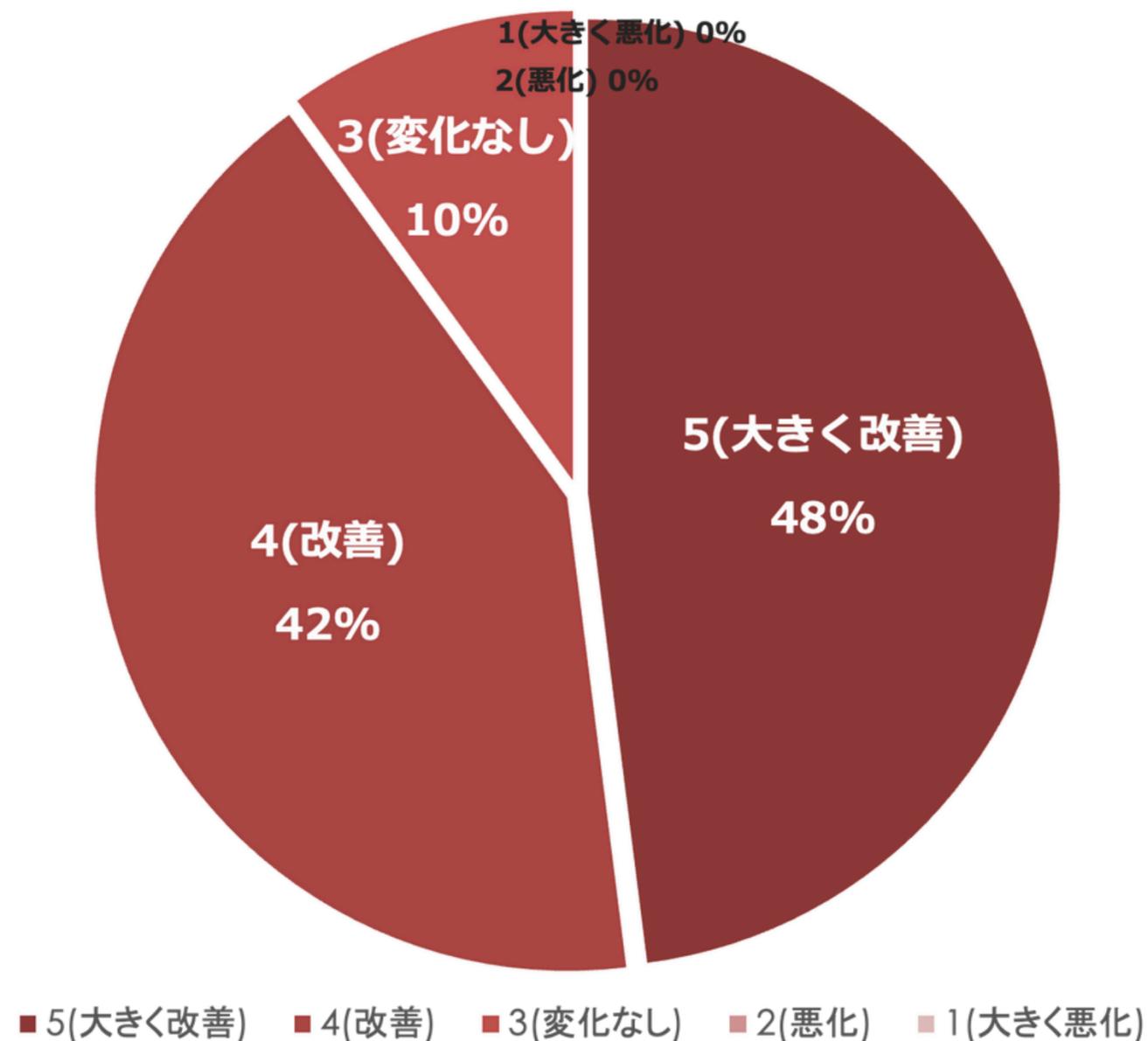
観点	導入前	導入後
リードタイム	新機能リリースまで6~12ヶ月	1~4週間ごとの継続的リリース ※小さく作って出せるため
品質のつくり方	後工程での手戻り多発	改善を積み重ねて品質向上 ※早く気づき、早く直せるため
顧客への反応速度	顧客の声を反映できない	短いサイクルで価値検証 ※毎回フィードバックを得るため
意思決定のスピード	会議ベース・承認待ち	現場で即判断・即実行 ※判断権限がチームにあるため

これらの変化は、判断と学習のスピードが変わった結果として生まれます。

CONTENTS 05 アジャイル導入による変化

変更対応のしやすさ

90%のチームがアジャイル導入後に 変更対応のしやすさが向上したと回答しました。特に「大きく改善」(48%)と「改善」(42%)を合わせると、ほとんどのチームで柔軟な対応が可能になったことがわかります。



調査概要

- 期間：2025年2月1日-2025年2月28日
 - 回答者数：162名
 - 調査目的：アジャイル導入のメリット・課題・影響を探る
- <https://abi-agile.com/activity/survey-report/>

CONTENTS 06 ABIが選ばれる理由

ABIの研修は世界標準の認定実績と実践的カリキュラムで高い評価を得ています。

01



世界標準の資格と認定制度

- 世界で180万人以上が認定を受けている、Scrum Allianceの公式クラスを提供
- 世界で通用するスキルと知識を習得可能

02

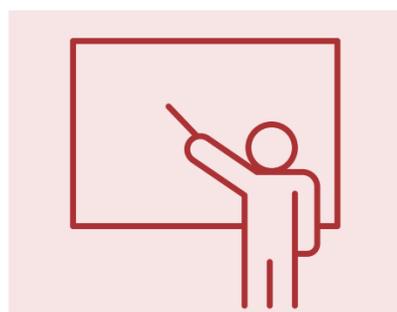


実践に基づいたワーク中心の学び

- 講義 × チーム演習 × ケースベース
- 「理解」だけでなく「現場で使える」にこだわった設計

オンライン研修の常識を覆す
双方向型で即戦力となるスキルを習得

03



一流講師による指導

- 国内外の第一線で活躍する現役アジャイルコーチが登場

CONTENTS 07 世界を舞台に活躍するアジャイルコーチ：Joe Justice

AGILE COACH
JOE JUSTICE



世界20カ国以上でアジャイルを導入支援！

国際的な講師による研修を、専門の日本語通訳と日本人司会で、
どなたでも安心してご受講いただけます。

Tesla：アジャイルプログラム設立・運営、車両製造・改良を支援

Google：アジャイルハードウェアを紹介

Amazon：アジャイルマネジメントによる事業拡大を支援

Microsoft：ビル・ゲイツと協業、財団プロジェクトにアジャイル導入

Boeing：アジャイル契約策定、製造、航空機設計を支援

Toyota：日本、中国、米国の全スタッフをトレーニング

Mercedes-Benz：MB.OS、ハードウェア・ソフトウェアのアジャイル開発手法確立

Apple: 新キャンパス建設・設計チームと協働

Facebook (Zinga)：プロジェクトマネジメントのトレーニング、コンサルティング

Volkswagen (CARIAD)：アジャイルハードウェア実践とサポートガバナンス確立を支援

Airbus：アジャイルオペレーションモデル構築に向けたトレーニング実施

その他：世界中の鉱業、金融、ホスピタリティ、政府機関など、
多数の業界で企業運営プロセスを支援



CONTENTS 08 ABIが提供するアジャイル研修

01 CSM 初級 スクラムの基礎！



認定スクラムマスター

スクラム未経験～初学者
スクラムの基礎理解、役割と進め方

02 A-CSM 中級



アドバンスド認定スクラムマスター

CSM取得後、実務中の方
チームの自律化、ファシリテーション強化

03 CSP-SM 上級



認定スクラムプロフェッショナル スクラムマスター

A-CSM取得＋実務経験者
組織横断の変革リード、複雑な課題への対応

01 CSPO 初級



認定スクラムプロダクトオーナー

PO未経験～初学者
顧客視点、プロダクトの価値最大化の基礎

02 A-CSPO 中級



アドバンスド認定スクラム プロダクトオーナー

CSPO取得後、実務中の方
プロダクト戦略、ステークホルダー対話

03 CSP-PO 上級



認定スクラムプロフェッショナル プロダクトオーナー

A-CSPO取得＋実務経験者
全体最適、ビジネス成果につながる意思決定

CONTENTS 09 幅広い業界・部門での導入実績

幅広い業界・部署で活用が進んでいます

- 業界：ソフトウェア開発／製造／金融／通信／医療／教育など
- 対象部署：プロダクト開発部門、IT統括部、DX推進室、技術企画、デジタルサービス部門など
- 導入規模：上場企業から中堅企業まで
- 累計実績：1000社、9,000名超



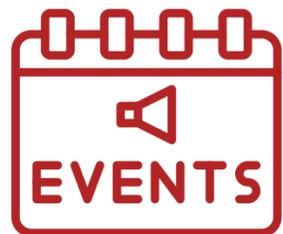
CONTENTS 10 資格取得後も続く実践を支えるサポート

研修が終わった後も、現場で活かし続けるための学びとつながりを提供しています。学びを“その場で終わらせない”仕組みがあります。



国内事例の共有

世界トップ企業の独占インタビューで、導入の成功要因や課題克服の秘訣を学べます。



イベント開催

アジャイル実践者が集い、課題解決や最新アイデアを交換。スキルを一層高める場を提供。



グローバルネットワークで最先端情報

Joe Justiceをはじめとする国際的な専門家の知識をいち早く共有。

CONTENTS 11 クラス参加までのステップ

01 クラスを選んでお申し込み

公式サイトからご希望の日程・クラスを選んでお申し込みいただきます。
<https://abi-agile.com/>

02 参加ガイドのご案内

日程・Zoomリンク・事前準備などをまとめた「参加ガイド」をお送りします。

03 受講料のお支払い

クレジットカード／請求書
お支払い方法は法人・個人どちらも対応可能です。

04 クラス参加

ZoomとMiroを使ったワーク形式のクラスで、実践的に学びます。

当日は、カメラ・マイク・インターネット環境だけあればご参加可能です。
初めての方でも丁寧にご案内しますのでご安心ください。



アジャイルビジネスインスティテュート株式会社
info@abi-agile.com

Thank you

